

令和5年11月13日

美深町議会議長 南 和 博 様

総務住民常任委員会委員長 小 口 英 治

## 所 管 事 務 調 査 報 告

本委員会は、下記の事項について閉会中に所管事務調査を行ったので、会議規則第77条の規定により報告する。

### 調査日

令和5年10月24日

### 調査事項

防災体制の現状と課題について

### 調査内容

- (1) 災害時の避難体制及び訓練の状況
- (2) 防災情報端末機による情報発信の手順及び活用状況
- (3) 防災備蓄品の配置状況及び備蓄品の内容

### 調査方法

- ・現地視察（防災倉庫・第3コミュニティセンター）
- ・聞き取り

### 調査のまとめ

- (1) 災害時の避難体制及び訓練の状況

災害時の避難体制及び訓練の状況は、各自治会1回程度の訓練を予定している。しかし、コロナの影響があり2～3年間は実施していない。小学校・中学校・障がい者支援施設等においては、通常の避難訓練が行われた。消防団の訓練として、特別養護老人ホームでの避難を想定し、町からも避難所設営の実地訓練が初めて実施されたが、避難所内での区分（健常者、施設内で生活をされている方等）の効率的な配置、空間、プライバシーの観点からも検討すべき課題もある。各自治会では避難者名簿が作られているが、避難支援の具体的・個別的体制づくりは、進んでいない。

- (2) 防災情報端末機による情報発信の手順及び活用状況

気象庁などの情報を速やかに防災端末機より情報発信し、早く・広く町民へ伝達している。

災害時の防災情報端末機による情報発信については、河川水害警報・熱中症警報・ミサイル発射警報などが、対象となっている。

今年度の「防災の日」においては、防災情報端末機により、美深町の水害被害の過去経験を発信し、防災意識を高めるように行った。

(3) 防災備蓄品の配置状況及び備蓄品の内容

コロナ感染対応のなかで、感染予防備蓄品（防護服セット・マスク・消毒液等）が加わった他、毎年度購入計画をたてたなかでの入れ替えを実施している。

備蓄品の内容において、オムツ関連で、衛生管理に必要なウエットティッシュの追加の検討も指摘があった。令和2年にラジオ付きランタンが65歳以上独居世帯に貸与の形で配付されたが、以後の取組がなく適切な対応も求められた。

防災備蓄品の食糧では、ハザードマップでの避難対象地区での想定のもとアルファ米480食(1日分)をベースに補充の計画の説明があったが、大規模な災害が発生した場合、国、道の援助、支援も考えられるが、今一度、定住自立圏構想下での災害協定のさらなる充実も図らなければならない。

※災害時用備蓄品 備蓄状況及び整備計画（令和4年度末保有・令和5年購入計画）

品 目	令和4年度末保有数	令和5年度購入計画	保管場所
アルファ米	1,450 食	350 食	第3 コミセン
災害備蓄用パン等	504 食	120 食	第3 コミセン
保存水 500ml	1,704 本	408 本	第3 コミセン
保存水 2L	852 本	204 本	第3 コミセン
大人用オムツ	90 枚	—	役場
ベビー用オムツ	80 枚	—	役場
生理用品	1,170 枚	—	役場
液体ハミガキ	216 個	216 個	第3 コミセン
液体ミルク 240ml	100 缶	100 缶	第3 コミセン
使い捨て哺乳瓶	20 個	—	役場
ヘルメット	131 個	—	役場
カッパ	73 着	—	役場
間仕切り	153 組	—	防災倉庫
毛布	800 枚	—	防災倉庫
アルミマット	500 枚	—	防災倉庫
簡易ベッド	130 台	—	防災倉庫
発電機	27 台	—	役場、防災倉庫等
暖房機器	22 台	—	各避難所
<b>感染症予防</b>			
防護服セット	200 セット	—	役場
マスク	50,000 枚	—	役場
消毒液 エタノール	90 L	—	役場